



# 【30年度 みんなで学ぶPTA 役員分科会】

## 学びのポイント

\*PTA役員の役割

\*PTA運営の心がまえ

\*誰でも参加できるPTA活動の工夫

## 分科会の内容

10:30～ I. ロールプレイ 5分

☆ベテラン会長・2年目の副会長・役員を初めて引き受けた人たちのそれぞれの立場から「役員の役割」と「運営の考え方」「学校との関わり方」について話し合っているシーン。

10:35～ II. グループごとの話し合い 60分

※「記録シート」は取りまとめたものを資料として別途添付してあります。

11:40～ III. まとめ 5分

☆社会教育指導員

- ・校長先生と話をする機会を是非、積極的にもってください。
- ・みなさんが楽しそうに活動することが、その後につながります。
- ・今日得られた情報を自校に持ち帰り、今後のPTA活動に役立ててください。

11:45 IV. 閉会 アンケート回収

## 反省、気付いた点

- ・会長分科会を世田谷区民会館の楽屋で行う。会長経験者が単P研修分科会に出席しなければいけなかったため、常任会長の他に旧世小P役員にも進行役としてお手伝い頂いた。
- ・会長副会長、単P分科会を同日開催でき世田谷区民会館は有効利用できたが、進行役などのスタッフがギリギリとなった。今後も広くお手伝いを呼び掛けることが必要と感じた。
- ・分科会の性質上、役員経験の有無や内容の理解のためお手伝いのスタッフの方には事前にしっかりしたご案内やマニュアルがあると良い。
- ・会長、副会長の分科会を61校すべて同じ会場でグループディスカッションを行った意味は大きかったと感じた。
- ・ロールプレイに関してはその時間をディスカッションにしてほしいという声も多く、今後の課題。

## アンケートより（一部抜粋）

【会長】

★今回の分科会は、今後の学級運営や保護者間、先生との関係づくりに役立つと感じましたか？

はい 32 / いいえ 0 /

- 他校の様子や運営の仕方、問題点等を聞くことができ、勉強になった。役員会は3年目ですが新しい発見がまだまだあります。1時間では足りませんでした。
- もっと、現状に対応できる組織でなければならないと思いました。
- 会長職 1 年目で、今後色々な事が起きると思いますが、他校の様々な意見が聞けて、大変ためになりました。アイデアが活かせるよう、今年度頑張ろうと思います。
- 各ブロックとの横のつながりをより促進できると良いと感じました。
- より時代に合った PTA 活動の実現のため、大いに遠慮なく意見交換が大事だと思います。
- 普通だと思っていたことが、他校では違うことがわかると、「こうでなければならない」という思いこみを外せた気がします。
- さまざまな学校のお話を伺うことで、解決策が見えたり、広い視野で見て、自分の学校に活かせるものが見つかったのがよかったです。
- 避難所訓練、もちつき等イベントへの PTA の関わり方、他校の状況がきけて参考になった。
- 小学校毎に環境が異なるなかで、様々な工夫をこらして運営されている状況を伺うことが出来た。
- 常任理事校の取り組みについて聞いてありがたかった。みなさん明るくパワフルで力をもらえた。
- 個人情報保護の件と各学校の人数の違いなど勉強になりました。
- 同意書について様々な意見を聞いてよかったです。
- 非加入の方への対応について、色々なご意見を伺う事が出来て、大変参考になりました。どの学校でも同じ様な問題が上がっている事を知り心強く思いました。
- 他校との交流、情報交換の場をカジュアルなものとして増やすべき
- やはり、会長同士同じ悩みなどがあったりするのでとても参考になります。2年目の参加となりましたが、今年度も頑張ろうと思えました。貴重な機会をありがとうございました。
- 1つのテーマで終わってしまったため、司会者である程度時間を区切れればもっといろいろな話ができたと感じた。

#### 【副会長】

★今回の分科会は、今後の学級運営や保護者間、先生との関係づくりに役立つと感じましたか？

はい 93 / いいえ 1 /

- 他校の意見が聞ける機会をありがとうございました。モチベーションが上がりました。
- 始まってみれば時間が足りなかったです。
- 色々な学校で起こっているトラブル、事例を聞いて参考になりました。
- 本部の仕事が大量な為、どこをどの様にスリム化しています等の意見が聞けて良かったし、参考になりました。
- 他の学校の対応が聞いてとても参考になりました。特に非加入者対応、委員係の選出方法、スタンプ・ポイントなどの学校での取り組み内容がわかり、大変為になりました。また、役員の数、前年度との引継ぎなども、他校のことが聞いてとても参考になりました。
- 各学校により役員選出方法が異なり、他校のシステムが分かりとても勉強になりました。自校の改善点が明

確になり（会費集金方法など）また他校の見習いたい点を取り入れて、皆が活動し易いPTA作りを行って行こうと思います。

- 学校によって組織構成、活動が異なっているんだなと感じ、時代なのか働いている方が多い中、皆さんがどう工夫して一年の中でどう取り組んでいくのがいいのか、濃い内容で話せました。
- 最近の家庭事情もふまえて、“本当にその活動は必要なのか”と常に考える必要はある。思い切って中止することも重要（たぶん業務や行事がふくらみ過ぎていると思う）
- 各学校それぞれ、副会長の役割が違って参考になりました。マンモス校、小規模校のお話も為になりました。役員をやるなら楽しまない！と改めて思いました。一年頑張るエネルギーをいただきました。ありがとうございました。
- 他校のPTAの連絡ツール、PTAの仕事（負担）の違い、（小学校規模の違い？）おやじの会の有無、役員決めの方法など、多岐に渡ってお話を伺って大変有意義でした。
- 他校の仕事量の多さに驚くと共に、自分の子どもの通っている学校のPTA活動は、割とスリム化されているなと思いました。
- PTA未加入や、委員や係決めでの大変さを挙げられる学校が多かったですが、自分の学校はPTA全加入、役員・委員決めも毎年くじ引き無しと、少人数の学校ならではの良さがあり、恵まれているなあと思いました。

#### <ご要望など…>

- 他校の状況が分かった。PTA加入しない人への対応を知りたい。
- 全校共通のPTAの決まりなど（プライバシーなど）あれば教えて欲しいです。
- 個人情報保護法改定に伴う管理の在り方を、改めて今後共有していけたらありがたいです。
- 各校の取り組みが知れて良かったと思います。今後、PTAでの個人情報取扱いについて、具体例を共有できると嬉しいです。
- 事前に参加校のPTAの状況を知れるようなアンケートがあって、その情報を元にお話しができれば、短い時間を有効に使える気がしました。
- 色々な学校の話しが聞けました。もう少し少人数の方が深く話しを聞いて良いかなと思います。
- ロールプレイングいららないと思います…その分、他校の方々と意見交換したかったです。またこの会のメンバーで1年半後に集まって情報交換できたらいいなと思いました。
- 役員になってすぐだとまだ疑問もない場合が多いので3日開催にして欲しい。DVDの内容などはネットに上げて欲しい。
- 働くお母様が増えていく中、他校ではどのように工夫されているのかが聞いて大変参考になりました。会の最初のビデオに関しては、一同に介して見る内容ではなく、Web等で見られる様にして頂きたい。
- 世田谷区のPTA独自のアプリを開発したらどうでしょうか？情報発信をアナログからデジタルにすることにより、手軽にできるようになるし、PTA活動がより分かりやすく伝えられると思います。word pressなどで誰でも発信でき、ID、PWなど付けてセキュリティ強化するなど。
- 他校の様子や組織を知る事が出来ましたが、自校のPTA活動に生かせると思えませんでした。

#### 【会計・書記】

★今回の分科会は、今後の学級運営や保護者間、先生との関係づくりに役立つと感じましたか？

はい 124名            いいえ 3名

## 書記

- 学校ごとに任期、役割（委員会）も異なり、前年度の方と協力し合いながら進めているところもあり良いと思いました。
- 映像による PTA の仕組みがとても分かりやすく、参考になりました。
- ディスカッションでは他校の話が聞けて参考になりました。
- 同じ立場だけれど、学校が違うので色々な意見や取り組みが聞け、大変有意義な時間でした。
- 自校の「PTA だより」を持参すれば良かったと思いました。
- 「みん P」とは、何をする会なのだろうと思いました。他校の話を聞き、出来る時に出来る事を楽しく子どもの為にする！を忘れずにいようと思います。

## 会計

- 他校の役員決めの話や PTA 加入に関する問題など、様々な情報交換が出来、参考になった。
- 他校も、個人情報の取扱いにご苦労されていることがわかりました。
- 役員の仕事は夜遅くまでかかる事が多く、子どもの事、家の事が疎かになりがちで悩んでいました。でも皆さんもそうなのだのと、分かっただけでも少し救われました。来て良かったです。
- 出来る時に出来る事をする！を心がけ PTA を通し、学校を知り、コミュニケーションをとり、子育てを楽しんでいきたいと確認できました。
- 情報交換の場として有意義だったと思いますが、今回の人脈を引き続き活かせる仕掛けがあっても良いのでは？と思いました。
- 他校の話はとても役に立ちましたが、ただ私自身、仕事を休んで出席したので、土日での開催をご検討頂けたらと思います。
- 聞くだけではなく、ディスカッションという形をとる事で、理解度が深まったと思います。
- 帳簿をエクセルで管理している学校があると知り、本校でもより入れられたら良いと思った。
- 年 1 回ではなく、年何回か開催して欲しいと思った。

# 【30 年度 みんなで学ぶ P T A 学級分科会】

## 学びのポイント

- \* 学級代表の役割
- \* 学級 PTA のコミュニケーション作り(保護者同士・先生と保護者)
- \* 学級の中で起こった課題にどう対処していくか

## 分科会の内容

10:25～ I. ロールプレイ 10分

☆ はじめて学級代表になった新人さんの悩みにベテランの保護者が答える形を基本に、担任とのコミュニ

ケーションなどについてロールプレイでわかりやすく説明。

途中、社会教育指導員の先生に質問して不安を解消するシナリオを世小P役員が読み寸劇風に。

10:35～ Ⅱ. グループごとの話し合い 60分

※「記録シート」は取りまとめたものを資料として別途添付してあります。

11:40～ Ⅳ. まとめ 5分

社会教育指導員

- ・問題が発生したら担任の先生に積極的に相談してください。
- ・困ったときは校長先生に相談してみるのも良い。ぜひ校長室をのぞいてみましょう。
- ・学級委員というせっかくの機会なのでお友達をたくさん作って相談し合ってください。

11:45 Ⅴ. 閉会 アンケート回収

### 反省、気付いた点

- ・今年度もテーブル毎の発表の時間をやめ、話し合いの時間を長く持つことにした。代わりに記録シートのまとめを後日学校へ発送する。
- ・最後の発表のプレッシャーがないおかげか、どのテーブルもリラックスした雰囲気ですごくばらんに情報交換がなされていたように見受けられた。
- ・成城ホール開催日は大雨に見舞われたが、参加人数はほぼ予定通りだった。参加者の皆様の意識の高さを感じた。
- ・成城ホールをフラットに使用して学級分科会を開催。会場に余裕があり、100名ほどで12グループ程度は問題なく開催できそうだが、椅子やテーブルの出し入れなどに人員が必要。
- ・三茶しゃれなあどホールオリオンでは予定より多い参加数だったため、1グループが10名ほどになった。発言の回数を増やすためにも細かくグループに分けた方が良いと感じた。

### アンケートより (一部抜粋)

★今回の分科会は、今後の学級運営や保護者間、先生との関係づくりに役立つと感じましたか？

はい 136名                      いいえ 6名

### 学級代表・学級委員

- ・他校の情報を聞くことが出来、大変参考になりました。単P研修会の事、茶話会の具体的アイデアを聞いたことがとても良かったです。
- ・校長先生のお話は、学代の役割についてどうあるべきかを分かりやすい内容でした。
- ・テーブルの話題に上がった主題が、今回の研修の目的に沿っていないと感じました。学級委員としての立場で、もっといろいろな意見交換を求めてきましたが、どの視点から話し合っているのか不明。話した内容は、委員会、係の決め方を自分たちのやり方を紹介するのみで、実りがあったとは言えないと思いました。
- ・先生をされていた方の経験豊富なお話も聞け、楽しく参加が出来ました。
- ・保護者同士の交流が盛んな学校があり驚きました。自校でも参考にしたいです。
- ・親睦をするにあたり、ルールや方法等、悩んでいる事も共有する事が出来とても良かったです。

- ・連絡網や個人情報の取り扱いについて難しさを感じました。
- ・学校内で当たり前のように運営されてきた事が、そうではない事に気づかされました。よりスムーズな運営に向け、発信も必要だと思いました。
- ・今日の配布資料「学級委員の関わり方」は各校でも配布して欲しい。
- ・今日のお話は、委員を引き受けてこの場にいらしている皆さんよりもPTAに関心の無い方にこそ、聞いて頂きたいと思いました。「つながる」「つながろう」と言いますが、全く意思の無い方々の方がはるかに多く、我々の支障となっています。
- ・年1回ではなく、年何回か開催して欲しいと思った。
- ・先生に相談するのが難しい場合は、校長先生に相談してみるというお話が参考になりました。

## 【30年度 みんなで学ぶPTA 単P研修分科会】

### 学びのポイント

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| * 単P研修会とは(家庭教育学級との違い) | * テーマの決め方  |
| * 参加の対象・研修会時期         | * 他校との情報交換 |

### 分科会の内容

10:30～ I. はじめに・単P研修会の説明 30分

☆単P研修会とは?単P研修会が始まった経緯・家庭教育学級との違い・研修会の目的・研修会のあり方(テーマ設定・参加対象・研修スケジュール)などについて説明

11:00～ II. 事例発表(2校) 20分

- ・松原小学校
- ・明正小学校

11:20～ III. 質疑応答・情報交換 20分

☆参加者からの質問等ディスカッション形式で事例発表校が回答。参加校の今年度の単P研修進行状況についても情報交換をした。

11:40～ IV. まとめ 5分

☆社会教育指導員

11:45～ V. 事務処理説明 5分

☆教育委員会の担当者より説明(事務処理で、間違い易い点など)

11:50～ VI. 閉会式 アンケート回収

## 反省、気付いた点

- 今年度は単P研修分科会を世田谷区民会館ホール1会場で開催した。昨年は2会場だったため、奇数ブロックより事例発表を4校お願いしたが、今年度は偶数ブロックより2校お願いした。来年度は再び奇数ブロックに依頼予定。また事例発表の学校数は会場数による。
- 1会場で開催することにより、全校で同じ内容が共有できる反面、日程の合わない学校にとっては分科会に参加できない可能性もあり、要検討。
- 事例発表に今年度はどちらも29年度の会長が壇上にて発表。内容も素晴らしく、とても好評でした。
- 単P研修会一覧の配布も好評。これまで資料は学校に3部の配布だったが、今回は参加者全員に資料を用意し配布することで、たくさんの方に情報を共有していただき、役立てていただきたい。

## アンケートより（一部抜粋）

★今回の分科会は、今後の単P研修の企画運営に役立つと感じましたか？

はい 82 / いいえ 1 / 無回答 1

- 具体的な事例等を聞く事ができ、今後の活動をすすめるにあたって少しイメージがわいてきました。
- 各学校の単P研修会の事例は、とても為になりました。先生方にもご参加いただき、保護者と楽しく交われる様な単P研修会が出来たらと思います。
- 「研修」の内容、趣旨がよく分かりました。前任者から引継いだ内容と違う点が多々ありとても参考になりました。
- 先生と保護者を個として知る交流の場のお話がとても興味深く参考になりました。
- 事例発表、H29研修会一覧はとても参考になりました。
- 事例発表があったので、どんな内容の研修なのか分かりやすかった。先生をどのように巻き込むのかがとても大事だと感じました。
- 松原小さんの報告がとても参考になった（先生、保護者でよく話し、それが安心感になり、学校のチカラとなる）。明正小さんの話でも、どうしたら先生が参加するのか、先生が参加した時の意義を見出せるように。
- 松原小学校の事例がとても参考になりました。最初のPTAのVTRは小学校入学時に新1年生の保護者の方に見せてあげたいなと思いました。
- 単Pでいつも先生方に参加していただかずとても困っておりました。色々な工夫をされていて、アドバイスなどもいただけ、ためになりました。ありがとうございました。
- PTAの基礎知識が本日の説明により理解することができました。委員の中でも共有して、今後の活動の参考にしていきたいと思います。
- 家庭教育学級との違いがよくわかりました。事例もありイメージしやすかったです。理解が深まり希望がもてました。ありがとうございました。初めのうち登壇されている方が、誰が誰かわかりにくかったです。名前をもっと大きく書いて欲しかったです。
- 日程決めは前年度役員が決めると良いとアドバイスいただければ助かります。
- 事例発表を何校か聞きたいです。
- 時間に限りはあると思いますが、2校だけではなく、もう少し他学校の話を聞くことができたらと思いました。ただ内容はとても良かったので、私たちも取り入れられることは取り入れていきたいと思いました。

あとは、学校側が多忙なことから日程調整が難しいと思う。そして先生方の勤務時間も考えないといけないので、今後色々なことを検討していかないといけないのが単P研修会だと思う。

- 研修会担当はまだ決定していませんが、担当になるなら大変そうだと感じています。
- 配布資料をWeb化して欲しい。教育委員会のHP（世田谷区）は見つけれなかった。（キーワード検索などヒットさせる方法がない）

生涯学習部

# 《平成30年度『みんなで学ぶPTA』 校外分科会報告書》

## 学びのポイント

61校の新校外委員を対象に、PTA活動における校外委員の役割・基本的な心構えを知り、具体的な実践例を基に、これからの一年間の活動のヒントとする。

## 参加者

61校 211名

## 会の進行

10:00～ I. プレゼンテーション 28分

全体会用『みんなで学ぶPTA』上映  
パワーポイントで校外委員の活動目的、活動内容について説明。

10:35～ II. マイクインタビュー 20分

### ◆桜丘小「花の子マップ」

「世田谷区地域の絆連携活性化事業補助金（25万円まで）」を活用し、交通・防犯・災害等、親から子に伝えたい情報を多く載せつつも、マップを見ながら散歩したくなるような楽しいマップ、いつでも見られるように家のどこかに貼っておきたくなるようなマップを目指して作成。補助金についてはまちづくりセンターの職員から説明を聞き、活動内容については、まちづくりアドバイザーに相談しながら進めた。

地域交流を広め深める活動として、町会の方へ「危険な場所と素敵な場所」アンケートを実施。警察署スクールサポーターや町会と児童がいっしょに通学路の防犯安全マップを考えるイベントを開催。また地域ボランティア「わんわんパトロール」の犬と児童との顔合わせも実施。マップには避難所や公衆電話の設置場所、公衆電話の使い方、町会長さんを紹介するイラストも掲載。より多くの保護者が地域への理解を深めることにつながった。

完成後はマップお披露目会や作成反省会を実施し、児童だけでなく町会にも安全マップを配布した。警察・行政・地域・学校・保護者・児童すべての力を合わせて作成したことにより絆が深まった。安全マップは見るだけのものではなく、地域に興味を持ち地域といっしょに作り上げるものと実感した。

### ◆山崎小「在宅避難（おうちでサバイバル）」

阪神淡路大震災で避難所生活を経験したことによりわかった「在宅避難」の重要性とその備え方。避難所は最後の最後に行くところ。プライバシーも守りにくいので雨風がしのげるならば慣れた環境で家族とともに過ごす方が良い。

在宅避難のポイントは「トイレ」。トイレについて守ってほしい3か条。

- ①絶対流さない。どこかで配管に亀裂が入っているかもしれないので、流れても流さないで！
- ②簡易トイレを備える。段ボールやペットボトルを使って自作も可能。
- ③ごみ収集が再開されるまで自宅保管する。3分別（紙・液体・固体）すると臭いを防げる。

このほかに、災害用伝言版171を実際にスマホで体験した。

「給食のおかわりはできても、いのちのおかわりはできない。」日頃から防災について考えてほしい。

### ◆中町小「緑のレンジャーさんの見守り活動、ヘルメット着用率アップ活動」

「緑のレンジャーさん」とは、子ども見守り活動に関わる地域町会有志のボランティアさん約20名。通学時間帯に危険箇所子どもたちの見守り、日没後に下校する学童の付き添い、土曜夜の防犯パトロールなどを実施してくださっているが高齢化が進んでいることが課題となっている。その活動を保護者にP

Rし、感謝の気持ちと安全活動の一端を保護者も担おうという意識付けに取り組んだ。

自転車用ヘルメットに関して所持率を調査したところ、3年生では99%であったのに対し、6年生では20%以下という結果が出た。サイズが合わなくなった時に買い替えていないのではないか。結果をグラフにまとめ、それはなぜか、どうすべきかを全クラスの児童に問いかけ考えさせた。ヘルメットの着用がいのちの分け目になることもあるので、家庭でもいっしょに考えてほしい。

#### ◆喜多見小「他校や地域との連携（野川自転車安全運転キャンペーン）」

二子玉川小PTA、砧南小PTA、地域、国土館大学、警察、世田谷区といっしょに二子玉川地区環境浄化推進協議会自転車安全大作戦を実施。9/7朝、通学路を走る危険な自転車について実際に歩いて調査。11/9朝、要注意箇所3人ずつ立って自転車マナーアップのチラシとティッシュを配り啓蒙キャンペーンを実施。後日、参加者とともにディスカッションをした。連携して地域とともに取り組むことの重要性を実感した。

### 10:56～ Ⅲ. お知らせ 24分

- \* こどもをまもろう110番事務手続きについて ～教育委員会事務局より～ 7分
- \* 自転車の安全利用について ～世田谷区交通安全自転車課より～ 11分
- \* 青少年問題懇談会について 3分
- \* 地域環境連絡協議会について 3分

### 11:20～ Ⅳ. まとめ～教育委員会事務局 社会教育指導員 7分

今日集まった方は、初めて校外委員を引き受けて、何をどう活動したらよいかかわからず不安を感じている方がほとんどだろう。人生100年の100分の1の1年間。いろんな場所に足を運んで、視野を広げてほしい。そして保護者・PTA・地域・行政とのパイプ役として、聞いた話を自校の子どもたちのための校外活動に役立ててほしい。1年後、自信に満ちた表情になっているように活動されることを願います。

### 11:30～ Ⅴ. ホワイエ（各学校の校外グッズ等）の見学 20分

各警察署管内校に分けて校外グッズ展示

「地域環境連絡協議会（ちーかん）」に関する展示

#### アンケートより（115枚回収）

##### ◆全体について

- ・ 今回初めての参加でしたが、校外の事だけでなく、PTA全体の事も分かりよかったです。（多数）
- ・ 最初のDVDはとても分かりやすく、勉強になりました。（多数）
- ・ 校外の活動を通して地域を知る、視野を広げたいと思いました。（多数）
- ・ 子どもたちの安全は保護者、地域の方のご協力あってのことと強く感じました。（多数）
- ・ 校外委員の役割、地域や警察との連携など、大変理解が深まりました。（多数）
- ・ ホワイエで、他校のグッズが見られてよかったです。校外の手作りロゴや地区班バッチのアイデアは参考になりました。（多数）
- ・ 今日はとても勉強になりました。1年間頑張ろうと思います。（4）
- ・ プレゼンテーション「みんなで学ぶPTA」は、とても分かりやすかったので、YouTube、各学校のHP

で 動画が観られたらよいと思った。(4)

- ・校外委員の仕事が、なるほど！と理解できた。(2)
- ・最初のDVDを学校でも、PTA会員に見せてから役員決めをしたら良いと思う。(2)
- ・プレゼンテーション「校外委員編」で、校外委員のある意味を再確認しました。
- ・PTA内での校外の立ち位置がわかりました。
- ・PTA活動、スライドを通して、分かりやすかったです。
- ・委員ではない保護者にも、DVDを見ていただきたいと思います。
- ・情報を得ることで新しい活動につながる事が多々あると感じ、今後も積極的に情報収集、発信していきたい。
- ・校外の活動は、多岐にわたることを改めて感じた。
- ・これから交通安全教室を開催するので参考になりました。
- ・今回参加して、何も知らないままのときと違う活動が行えそうです。
- ・もっと多くの方が参加して、この活動を知ることが出来たらよいと思いました。
- ・世小Pについて、全くわかっていなかったのですが、とてもわかりやすくなりました。
- ・個人情報保護法により、校外は課題が山積みでしたが、今日の分科会に出席し、原点へ戻り子どもたちの校外生活が安心安全であるように活動していきたいと思いました。
- ・危険回避、交通ルールを守るなどの知識や情報収集は大切ですが、怖いイメージもありました。危険なことから逃げる、遠ざけるだけでなく、自身に危険が起こった時、どのように対応し、地域や保護者、学校の心づくりも大切だと思いました。
- ・今まで気付かなかった、いろいろな方々の取り組みで、私も安全に学校生活を送り、守られていたことを知る機会となりました。
- ・青少年問題懇談会を始め、知らないことを知る機会があるのがよいなと思いました。
- ・多方面からの情報がとても参考になりました。‘守るおもい’にとっても感動致しました。
- ・他校の取り組みを見ることが出来て、つながりを感じ安心いたしました。今後1年間、次へのバトンをより上手に渡せたなら、と考えが変わりました。

#### ◆マイクインタビューについて

- ・各校の具体的な活動を知ることができとても参考になりました、大変有意義でした。(多数)
- ・各校の取り組みの工夫が素晴らしいと思った。
- ・喜多見小さんのように実際に子どもたちが道を歩き、学べることも多いので、自校でも実践できたらと思いました。(2)
- ・喜多見小さんの「自転車キャンペーン」ととても興味深かったです。(3)
- ・中町小さんの緑のレンジャー、参考になりました。自校地域でもあるとよいなと思います。(3)
- ・花の子マップ、楽しくなるマップが素敵だなと思いました。
- ・自校で安全マップを作る担当になったので、桜丘小さんの発表は特にアイデアをたくさん頂けて参考になりました。(4)
- ・地域の補助金を利用して、「花の子マップ」を作成、地域との連携が大切だと思いました。
- ・各校の活動をもっと聞きたいと思いました。(2)
- ・防災、交通安全について、とても勉強になりました。
- ・4校の活動をお聞きし校外活動は幅が広いと感じました。出来るところから始めたい。(3)
- ・山崎小さんの「在宅避難」についてのお話は、大変ためになりました。地震対策のためには、子どもと親が

地震について改めて見直す機会になったので、とても良い企画だと思いました。(3)

- ・山崎小さんの防災のお話は生の声だったのでとても身近に感じました。
- ・在宅避難のトイレについても知らなかったので参考になりました。
- ・実際に活動へ移すのはなかなか難しいので、実践したみなさんはすごいと思いました。
- ・みんな P 参加3年目ですが、毎回各校の発表がとてもためになります。運営委員会でみなさんに伝えたいです。
- ・ヘルメット着用率が、どのくらいアップされたのか気になりました。
- ・普段から、防犯意識をもって過ごしていきます。

#### ◆自転車利用について

- ・世田谷区交通安全自転車課さんのお話、大変分かりやすくてためになりました。(多数)
- ・「たまちゃりルール」など参考にしたいお話も聞け、大変有意義でした。(多数)
- ・ヘルメットの着用により、命が守られることをより多くの方に認識していただき、着用率向上にも努めていきたいと思います。
- ・ヘルメットの着用率が低い地域なので、何か出来ることがあればよいと思いました。(3)
- ・自転車に対する安全教育の大切さを痛感しました。PTA 活動を通して、大人も自転車について学べるとよいです。(多数)
- ・自転車の乗り方教室は、是非親も一緒に参加したい。
- ・世田谷区の自転車事故が多いことに驚きました。(多数)
- ・自転車課のお話は、交通安全教室委託説明会と似た内容でした。委託説明会は1校1人参加でしたので、今回はたくさんの方に周知出来るので効果的だと思いました。
- ・世田谷区交通安全自転車課さんのお話ますます面白く頭に残ります。自校で講話していただきたいと思っています。(2)
- ・「自転車の安全利用」のVTRがよく出来ていて楽しく学べました。福島さん素敵でした。(2)
- ・自転車の免許制度の導入をしてはどうか。将来、車の免許を取る前に違反すると減点となり罰金やボランティア活動を課す、免許停止、そんな体験できると意識が高まります。
- ・子どもたちにも話そうと思います。
- ・本日の帰り道も、たまちゃりルールをしっかり守ります。

#### ◆改善点・ご希望など

- ・活動の結果、このような良い結果(効果)があったという校外活動のメリットを多く盛り込んでいただけると、大変だがやってみようという意識が高まります。
- ・「できる人ができる時にできることを」の理念の中、できる人が減ってきていますが、「やりがい」や「貢献」などに訴えるのではなく、活動の効果、成果のPRに力を入れ参画者を増やしていきたいと思います。
- ・ブロックごとなど、地域の小学校と話し合いの出来る時間があるとよいなと思いました。
- ・ちーかん担当校のお話はとても参考になりました。資料が配布されたらよかったなと思います。
- ・定期的に、各校の取り組み、ノウハウの共有をして欲しい。

# 《30年度『みんなで学ぶPTA』 広報分科会報告書》

日時：平成30年5月2日（水） 10:00～11:45  
場所：世田谷区民会館 集会室  
参加者：72名（43校）

## 1. 目的

区立小学校全校の広報委員、または、おたよりを作成する書記など、はじめて広報活動をする方を対象に、広報紙の役割を考え、広報紙作成に役立つ情報を共有する。

## 2. 事前準備

- 世小P広報紙「PTAの広場」29年度、30年度編集委員にグループディスカッションの進行依頼。
- ディスカッション用原稿の用意

## 3. 内容

10:00～ ◆ パワーポイント「みんなで学ぶPTA」（広報部分科会編）

---

10:25～ ◆ 広報紙の役割について 【社会教育主事】

---

学校だより／PTAだより／学校HPと広報紙の違いは？  
広報紙の役割とは？

10:30～ ◆ グループディスカッション

---

進行役に29年度30年度「PTAの広場」編集担当9名、29年度世小P役員

11:20～ ◆ 広報活動において気をつけたいポイント 【社会教育主事】

---

- ・著作権や肖像権について
- ・個人情報（写真など）の取り扱いについて
- ・表記のしかたについて

11:30 ◆ 閉会

---

#### 4. ディスカッションアンケート結果（参加校のみ）

広報紙のある学校…43校　　ない学校…0校

発行号数

1号…1校　　2号…12校　　3号…17校　　4号…4校

2～3号…3校　　3～4号…1校　　4～5号…1校

広報紙に関わる人数は3人から30人と発行号数により差があった。

#### 5. ディスカッションの内容

##### 【面白かった記事】

- ・先生紹介号学校配置図が載っていたので校内の様子がわかりやすかった。
- ・主事さんの仕事に密着というのが良かった。
- ・サマースクールの記事。
- ・給食について。
- ・その年度ならではの特集、新校舎などの紹介。
- ・委員会、係りの紹介。（保護者向け）

##### 【紙面づくりの工夫】

- ・読みたくなるような企画があると新鮮でよい（クラブ活動、給食紹介、校長先生の一日、児童アンケート）
- ・広報紙で何を伝えるのかが大切。
- ・普段、保護者が入れない行事を紹介するのがよい。
- ・先生紹介号の写真は転入の先生のみ撮影し、それ以外は昨年度の写真をそのまま利用。同じ対応の学校2校あり。撮影場所も同じにしている工夫も。
- ・各号にパソコンが得意な人を設置して班わけをしている。
- ・壁新聞風に手書きで発行したこともあった。
- ・行事を掲載するだけでなく問題提起していく必要もあるのではないか。
- ・紙面の言葉の表現に注意している。
- ・内輪だけで楽しめるものではなく、正しいもの、読み手が不快にならないもの。
- ・個人情報事前にしっかり許可を得る。
- ・手書きやモノクロで味がでるようにしたい。

##### 【その他】

- ・作業軽減のため、ある程度マニュアル化したフォーマットがあるとよいかもしれない。

- パワーポイントにて無料テンプレートあり、リーズナブルに作成しコストを削減している。
- フォトショップ利用時は金額や印刷業者を自由に選べるかが問題となる。
- 児童の顔を写すことに苦慮している。年度はじめに承諾書をとっている。
- 児童の顔を大きく写せないため、引きの写真だけだとつまらない。
- 先生の出身地は個人情報のため記載できなくなった。
- 先生紹介号は前年度の委員が作成してくれる。同じ対応の学校複数あり。
- 製作は得意な方が受けることが多い。
- 画像の管理は USB やグーグルドライブを利用している。
- 保護者が参加する行事の紹介が多く負担なため広報委員会を廃止し、役員が広報作業を担当し年1回発行とした学校もあり。
- 広報紙のキャラクターと学校のブログが連携している。
- 印刷は外注が多い。
- PTA 室にパソコンが1台しかなく、PTA 室での作業が多いため、PTA で WiFi 契約。
- 広報委員は選出時に編集が出来る人を募集するので立候補が多い。
- イラストレーターのソフトを使える人がいない。
- イラストレーター使用経験者を委員募集段階でつることも必要なのではないか。
- スキルを求められるので経験者が多くなりがち。
- 号で委員を分けずに全員で記事を作る。編集だけ、配付だけ、と役割分担もしている。
- 委員同士の会議は集まらずにラインを利用している。
- ドロップボックスやサイボウズなどで情報を共有している。
- PTA だよりも類似したテーマが多く子どもの掲載が少なく PTA 主体の内容でよいのか。
- 配付先が100弱ありすべてにポスティングしており労力が負担。
- ブロック内で広報委員が集まる会があるとよい。情報を共有でき視野をひろげられる。

## 6. 反省点・改善点

### 【反省点】

- ◇ 全体の質疑応答をなくしたが、質問がある方は個別に吉田主事のところに行けたので、良かったようだ。
- ◇ 昨年までみんな P で表記の参考にと配っていた「表記メモ」今年はないのかと問い合わせがあり、4校ほど交換便で発送。ただ、持ち帰った方々が世小にとらわれてしまうのはよくない。あくまで学校のルールに従って作成いただきたいという理由で本年度は配付をやめたので、次年度も同様とする
- ◇ 校外と広報の場所がわからなく間違えた方が数名いた。ホワイエ内での表記・声掛けが必要。
- ◇ 学校全員が集まるまで、受付を通らないところがあり、開始時間がおしてしまった。早めに声掛けをしていくよう、徹底したい。
- ◇ 各校の広報紙を閲覧場所に、分科会終了後にゆっくり閲覧できる旨書いた看板を設置するとよい。
- ◇ 全体の流れを把握しているものが少なかったため、詳細な係分担をしておくべきだった。
- ◇ 部長が、私用で欠席のため、迷惑をかけてしまった。
- ◇ 換気扇を、事前に消しておけたので、会場内で声が聞こえないなどの不具合がなくよかった。

◇ ディスカッションは、かなり盛り上がっていたので、もう少し時間とりたい。

## 7. 当日のアンケート結果（抜粋）

【 70枚 回収 】

- ・参加してよかった。
- ・有意義だった。
- ・とても参考になった。
- ・最初のDVDで、世田谷区全体のPTA組織がわかりやすかった。
- ・気になっていた情報を聞いてありがたかった。
- ・他校との情報交換ができ、参考になることが多かった。
- ・ディスカッションの時間があってよかった。
- ・他校の広報紙を参考に見られるのがよかった。
- ・ディスカッションの時間をもう少し長くしてほしい。
- ・掲載内容が前年と同じになってしまう悩みが、各校同様なのだと感じた。
- ・子どもの行事中心から、PTA活動中心の記事に変更するなど、いいアイデアをもらえた。
- ・スマートフォンアプリなどのツール活用が参考になった。
- ・他校の広報紙に掲載するアンケート項目など聞いて参考になった。
- ・他校の活動の多さに驚き、もっと前向きになろうと思った。
- ・初心者にはわかりやすい内容だった。
- ・役員の選出方法が各校異なり驚いた。
- ・各校の広報紙への視点の違いが分かった。
- ・各校の最新の取り組みを情報共有でき、負担減に生かせそうだ。
- ・何を載せたら、みんなに楽しんでもらえるか、もっと考える良いきっかけになった。
- ・同じ世田谷でも、役員の在り方や、広報紙の内容など、全然違うのに驚いた。
- ・紙面内容変更し、融通が利くのかきかないのか、自校で確認したい。
- ・学校予算・発行部数など各校の知っておくべき情報を事前にわかるように知らせてほしい。
- ・ディスカッションのグループ分けは、過去に広報委員の経験者をうまく振り分けられたら、より有益な情報が得られたのではないかと。
- ・広報の仕事は、技術を伴うこともあり負担が大きいので、改善されるよう見直しが必要だと思う。
- ・今年度の広報紙を作っていくのが楽しみになった。
- ・前任者の引継ぎだけではわからないこと、判断できなかったことが、ある程度の判断材料が得られた。
- ・個人情報の取り扱いも大変なことが分かった。
- ・広報委員の重荷を感じていたが、広報紙の役割をしっかりと念頭におき活動しようと思った。
- ・外注している学校があり、参考になった。
- ・写真の扱い（顔が写っているもの）のことについて大変参考になった。
- ・参考になるものがたくさんあった。
- ・世小Pの役員の方のご尽力に感謝する。
- ・自分の情報をもう少し整理してから、参加できたらよかった。

- 1年で大きく変わることはできないが、少しずつ変えていけばよいという言葉に納得した。
- どの学校も、その年ごとに試行錯誤して頑張っていることがよく分かった。
- 自校に持ち帰り、情報を共有したい。
- イベント掲載だけでなく、問題提起をすることが大切ときき、今後の参考にしたいと思った。
- 広報の仕事をPTA会員が希望しやすくするため、仕事内容の負担軽減が今後の課題になると思った。
- PTA活動で効率よくする方法や、新しく導入することなど、自分が思ってもいなかった話を聞くことができた。
- こうした意見交換の場がまたあるといい。
- 昨年度他県から引っ越ししてきた。そこではこのような会はなかったので、皆さんの熱心さに驚いた。

以上

総務広報部